

から「韓国如己の会」が同様の活動を続けてい
る。この会は、長崎の永
井隆博士が唱えた「如己
愛人（自分を愛するよう
に隣人を愛する）」の精
神を広く伝えるため、大
邱の大同教によって設立
された。毎年、中高生を
対象に読書感想文コン
クールを実施し、平和学
習や長崎との交流にも取
り組んでいる▲こうした
活動を通して、平和への
歩みが受け継がれていく
ことを願う。今、この地
上で起こっている戦争や
紛争を一日も早く終結さ
せてください。人類の運
命の鍵を握る人々が、復
讐や報復の論理を用いな
いよう働きかけてくださ
い」（聖ヨハネ・パウロ
2世教皇の祈り）▲平和
の元后聖母マリアの取り
次ぎを祈りながら（秋）

韓国・第15回如己愛人賞

大邱大司教区で授賞式

韓国如己の会(総裁・曹煥吉大邱大司教)は6月20日(土)、青少年を対象とする読書感想文コンクール「如己愛人賞」の授賞式を同教区内で開催した。同賞は、永井隆博士関連の著書を読み、隣人愛や平和を追求する意識を高めてほしいと創設されたもので、今年で15回を数えた。

指定図書のうち1冊を読み、感想をまとめるという同賞。同教区の公式サイトによると、今回の公募には中学生の部115、高校生の部38の計1



ミカエル 大山繁師が引退

53年間にわたり司牧に専念された大山繁神父が6月13日に引退した。これまでの奉仕に感謝するとともに、これからの健康を祈りたい。

長崎大司教区長賞(受賞者は中学3年の李採書さん)を贈った中村倫明大司教は、「長崎の人ではなく韓国の子どもたちが真摯に永井隆先生に向き合ってくださり、しかも、原稿用紙数枚にも及ぶ素晴らしい文章を書いていることに感動します。受賞者には8月9日に合わせた長崎への巡礼が予定されています。長崎教区自体こそ、もともと熱心に、永井隆・緑ご夫妻の列福列聖に向けて取り組まなければならない

略歴 1946年6月5日 平戸市生まれ。紐差教会出身。73年3月19日 浦上教会で司祭叙階。同年浦上教会助任、75年出津助任、78年大瀬戸教会在住・大山教会主任、79年山田主任、84年田平主任、92年神崎主任、2005年青砂ヶ浦主任、11年黒崎主任、17年黒島主任、21年から平戸口主任。



長崎大司教区長賞を 受賞した作文一

神ノ島で岬の聖母祭

野外での実施は7年ぶり



5月31日(日)の聖母の訪問の祝日(当日は三位一体の主日)に神ノ島では岬の聖母祭が行われた。コロナ禍や天候の関係で、野外での実施は実に7年ぶりだった。

当日は天候にも恵まれ、13時に教会下からマリアみこしを先頭に出発。お告げのマリア修道会神ノ島修道院のマリア像を経由し、参加した約100人の信者の方々が、ロザリオを唱えながら海岸沿いに行列を行つた。本来ならば、下の浜(どんく浜)に到着した



▲右上に見える白い像が「岬の聖母像」。現在像正面側の土台下の地盤が一部崩落している。

神ノ島教会主任司祭 山内啓輔

後、岬の聖母像に献花するのだが、現在、岬の聖母像下の崖が崩れており、像の近くは立ち入り禁止となっているため、マリアみこしに献花を行つて

祈りと安らぎの場になるように

本原教会のルルド改修

本原教会のマリアの山は、キリスト教迫害時代に清い泉が湧き出ていて、この泉の水を使つて洗礼を授けていた由緒ある清泉でした。



産を継承すべく、ルルドの洞窟を設置しマリア像を安置しました。その後、教会を訪れる信徒の祈りの場としてたくさんの恵

みを与えてきましたが、1990年西山トンネル工事現場に水の流れて止まってしまいました。そんな中、ルルド改修を本原教会出身の世界的庭園デザイナーである石原和幸氏に相談したところ、全面的支援を受けてルルドを改修していただくことになりました。石

原氏は生まれ育った三原が花でいっぱいになり、少子高齢化の中にある教会にも三原にも多くの人に來てもらえるようにという強い熱意で新しいルルドの改修に取り組んでくださいました。

6月7日(日)、ご聖体の祭日に主任司祭の村上芳隆神父による祝福と子どもたちの花まき、聖歌の流れる中、放鳩をして



華やかに祝福式が進められました。午後には、石原氏と工事関係者によるお披露目のあいさつと説明が行われました。新しくよみがえったルルドが、今後ますます多くの方の祈りと安らぎの場となれどと願っています。

*3枚目の写真の右が石原さん、左が村上神父。

2026年10月18日 「世界宣教の日」100周年

2026年10月18日、「世界宣教の日」は100周年を迎える。教皇レオ14世は今年1月25日付メッセージの中で次のように述べている。

「教皇ピオ11世によって制定され、教会が大切にしてきたこの記念日の100周年を記念する2026年の『世界宣教の日』のために、わたしは『キリストにおいて一つ、宣教における一致』というテーマを選びました。聖年を終え、わたしは全教会に對して、聖霊における喜びと熱意をもって宣教の歩みを続けるように励ましたいと思います」

今年5月には日本の教皇庁宣教事業(J・MISSIO)が公式ウェブサイト上で「世界宣教月間」と「世界宣教の日100周年」にあたってと題する文書を公開した。10月の宣教月間に祈りをささげることが推奨されるとともに、第4回「宣教川柳」への多数の応募を呼びかけている。

第4回「宣教川柳」

テーマ「記念」

核なき世界基金

被爆地からのチャレンジ みんなでいのちと地球を守ろう！
<https://nuclear-free.net/>

応募期間は2026年6月1日(月)から9月30日(水)までです。応募できる川柳は原則1人1つまで(未発表のものに限る)。受賞作品は教皇庁宣教事業「ウェブサイトで発表されます。提出された作品の著作権は教皇庁宣教事業に帰属するものとなります。

9月末まで開催

長崎の聖母マリア — 信仰と希望の光 —

〔案内文から〕「聖母マリア」は地域や時代背景に応じて、その姿を変えながらも、常に人々に寄り添ってきた。その姿を本展覧会では、厳しい時代を耐え忍んだ信徒の信仰の深さと、日本とヨーロッパの異なる文化が融合した結果生み出された長崎独自のキリスト教文化の豊かさ、さらに長崎の街に静かに佇み、人々を見守り続けてきた生活の中の「マリア様」に焦点を当てて紹介します。

会期 2026年

開館時間 4月29日(水)～9月30日(水)

開館時間 8時30分～18時(最終入場17時30分)

場所 大浦天主堂キリシタン博物館

旧大司教館2階

入場料 大人 1000(900)円

中高生 400(300)円

小学生 300(200)円

※(一)は20人以上の団体料金。

※大浦天主堂拝観料に含まれます。長崎大司教区信徒カード(5面に関連記事)をお持ちの方は無料。

詳細は、同博物館が各小教区にお届けしているポスターなどのご案内をご確認ください。



主の平安 カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二

長崎市辻町7-18

TEL(095)844-4011

24時間営業

FAX(095)843-9896

タンスの中身は入れたまま責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送も致します)

貨物保険有り

- ・一般引越
- ・小荷物
- ・荒ゴミ捨て
- ・遠距離
- ・学生引越

24時間営業・年中無休

受付時間 7:00~22:00

水浦運送

シモン 水浦 幹雄

長崎市上野町12-3

TEL(095)44847-7151

携帯 090-7923-9005

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付

白蟻防除施工士

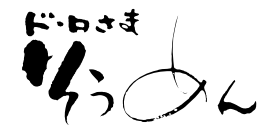
大田白蟻研究所

代表者 大島和彦

(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号

宮崎 095-822-8436

FAX 095-822-8488



Nagasaki Spaghetti

株式会社サンフリースト・ロさま麺工場
長崎市西出津町2528-1
TEL(0959)23-0610
FAX(0959)23-0611

右記URLからご注文できます



マイホームの美容と健康に!

(有) 山川 塗装

有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会 長崎県建物営繕工事業協同組合理事

代表取締役 ベトロ 山川 進

佐世保市原分町1715-5

TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729

赤城墓地 小家族様 分譲中

長崎石彫 岩永 095-862-2469



マリアの役割に 思いをはせて

本河内教会ルルド祭

5月31日(日)三位一体の主日に、本河内教会(主任・中野里晃祐神父)で毎年恒例のルルド祭が行われました。今年はアッシジの聖フランシスコ没後800年の記念の聖年であり、また聖母



の訪問の祭りと三位一体の主日が重なる二重のお祝いの日ということもあって、長崎市内のみならず、遠方からもたくさんの方々が参加してくださいました。



10時半からのミサでは、入祭の時に参列者がマリア様へ献花をし、あらためてマリア様への感謝の思いを表しました。この日のミサの主司式は、コンベンツアル聖フランシスコ修道会聖母の騎士修道院長の山口雅稔神父が務めました。

ミサ後には青空の下、涼しげな木陰の中を聖マキシミリアノ・マリア・コルベ神父の開いたルルドまで、ロザリオ行列を行いました。途中、各玄義のレリーフに留まり、神様の救いの業におけるマリア様の役割に思いをはせながら、人々の回心と世界の平和を願い、ロザリオを皆で唱えま

(本河内教会)

「ともに祈り、 ともに歩む」

井持浦ルルド祭に約230人

5月10日(日)、井持浦教会のルルド創設127周年を記念する「井持浦ルルド祭」が行われた。久しぶりの晴天に恵まれ、下五島地区の司祭、信徒、シスター方が集い、約230人が参加しての開



聖母行列に始まり、ルルド前の祭壇で記念ミサをささげた。ルルド祭の「スローガン」は「ともに祈り、ともに歩む」。井持浦教会のルルドを形作る石は、かつて下五島の各教会から持ってきてささげられたもの。この日、各



地から集まり、心を合わせてともに祈り続ける教会、聖母マリアとともにあり続ける教会の姿があった。

(下五島地区)

ミカエル

山内清海神父 帰天



5月19日午後3時50分、誤嚥性肺炎のため長崎市内の高齢者施設で逝去。90歳。

1935年9月28日平戸市生まれ。田平教会出身。59年カナダ・モントリオール大学に編入。61年5月27日同地で司祭叙階。ローマ・聖トマス(アンジェリクム)大学大学院編入。64、89年福岡サン・スルピス大神学院哲学教授、75、85年大神学院院長兼任。89年6月大神学院長兼任。92年5月お

告げのマリア修道会付司祭。神学博士、哲学修士。長崎純心大学・大学院教授、長崎大学非常勤講師など歴任。2019年12月に引退し、その後は大司教館、長崎市内の高齢者施設に居住していた。通夜は5月20日浦上教会信徒会館、葬儀ミサ・告別式は21日同聖堂で中村倫明大司教の司式により行われた。

通夜では故人の最後のときに居合わせた中村大司教が説教をした。大司教は、さまざまな現場で人々と心を通わせた山内神父が学問的・精神的にも教区の支えとなったことに感謝を表し、多くの著書を手がけ、講演を行ってきたこと、宗教の枠を超えて人々に福音を届けたことにも触れた。また、最後の大規模講演となった20

会葬御礼

カトリック長崎大司教区司祭ミカエル山内清海神父の逝去につきましては、早速ご丁寧なる弔問・弔電ならびにご香典を賜り、葬儀の際にはご会葬・献花の厚意に接しましたうえ、各教会・修道院で故人のために祈りいただき、誠にありがとうございました。御礼申し上げます。

二〇二六年五月
カトリック長崎大司教区
大司教 中村 倫明

聖書への理解深める

聖書協会主催のセミナー、長崎で開催

6月27日(土) 14時から長崎市東山手にある活水女子大学大チャペルで、セミナー「聖書の言葉・詩の言葉」が開催された。主催は一般財団法人日本聖書協会・バイブルハウス熊本、後援は長崎キリスト教協議会とカトリック長崎大司教区。当日は約70人が来場し、参加者は聖書翻訳事業に携わった有識者による講演と対談を通して聖書への理解と関心を深めた。

講師は、日本旧約学会会長の小友聡師と詩人の岡野絵里子氏。小友師は「若者よ、あなたの道を行きなさいーコヘレトの言葉を読む」をテーマに



マリア

中島信子さん

(中島誠志師の母)



5月13日ファチマの聖母の記念日に、五島市の聖マリア病院で逝去。81歳。子どもたちを修道女と司祭にささげた。

中島師は「ここ数年は会話がでなかった。それでも最後まで母から、確かな『音のない声』を心に届けられ、教えられ



エリザベット
平瀬シズカ修道女
(お告げのマリア修道会)

6月20日逝去。90歳。1935年新上五島町生まれ。57年初誓願、63年終生誓願。

入会して約20年にわたり白菊保育園の調理員を務めた後、旧大浦大司教館、カトリックセンター、

た気がした。ルルドへ巡礼し、父と背を丸めて祈る後ろ姿が忘れられない」と振り返る。

「人と花 育み咲かす結び目の声」。その歩みは、下口勲師の著書『福江教会の牧者たち』の中でも語られているという。

葬儀は5月15日福江教会で、中村倫明大司教と20人の司祭の共同司式のもと行われた。多くの信徒や修道女の祈りと聖母月の穏やかな青空に包まれ、復活の主のみ手に委ねられた。

訳作業での体験を織り交ぜながら語った。その後の対談では「聖書を読むときは理屈だけでなく、立ち止まって想像力や感性をもって読むことが大事」との話もあり、質疑応答をもって終了した。



長崎大司教区 生涯養成委員会主催 2026年度 聖書講座のご案内

オンラインでも受講可
Zoom

2026年度後期は聖書講座「預言の成就であるイエス・キリスト」をテーマに預言書を読み進めていきます。救い主の到来に向けて御父より言を授かり、伝えるために躍動した預言者の熱意、働き、人となりに触れたいと思います。私たちカトリック信徒も、み言葉を受け、み言葉に応え、み言葉を伝えていく使命が与えられています。

生涯養成委員会 山添 克明

- ◆場 所 大司教館3階第1会議室 または オンライン受講
- ◆受講料 5,000円(全10回分) *聴講可能(1回1,000円)
※受講料の支払いは振り込みのみです。現金の取り扱いはありません。
- ◆申込先 カトリック長崎大司教区 生涯養成委員会
Fax 095-842-4460 ✉cnsy.kouza@gmail.com
※お問い合わせのみ電話で受け付けます。Tel 095-841-7731

申込期限 2026年9月5日(土)

*途中申し込み・聴講は随時受け付けます。*会場での受講の方は、定員になり次第締め切らせていただきます。



申し込みはこちらから↑

テーマ: 預言の成就であるイエス・キリスト

土曜日 午前10時30分~11時30分 ★公開講座はありません。

	月 日	講 師	内 容
第1回	9/26	高見三明明誉大司教	預言者概説
第2回	10/10	湯浅 俊治 師	イザヤとイエス (1)
第3回	10/24	湯浅 俊治 師	イザヤとイエス (2)
第4回	11/7	山内 啓輔 師	エリヤ・マラキとイエス
第5回	11/21	古里 慶史郎 師	エレミヤとイエス
第6回	12/5	嘉松 宏樹 師	エゼキエルとイエス
第7回	12/19	キム・ドンウク 師	ダニエルとイエス
第8回	1/9	瀬戸 高志 師	ゼカリヤとイエス
第9回	1/23	ナム・シジン 師	ヨエル・ハガイ・ゼファニヤ・ハバククとイエス
第10回	2/6	山添 克明 師	ホセア・ヨナ・ミカとイエス

2025年度決算に関する報告 カトリック長崎大司教区

単位：円

〔収入の部〕

科 目	決算額
1. 経常収入	481,323,621
教区費	111,248,196
特定献金収入	3,849,094
特別献金	26,340,900
寄付金収入	32,878,202
出版物収入	1,424,253
研修会等収入	1,910,500
広告料収入	1,313,000
購読料収入	77,699
法務事務所手数料納入金収入	0
宗教活動収入	179,041,844
非課税事業収入	29,409,369
負担金収入	500,000
受取利息	82,243
雑収入	5,387,974
雑収入	5,470,217
立替金収入	6,744,688
その他の収入	6,744,688
仮受金収入	43,259,797
仮払金戻り収入	8,886,683
小教区拠出金	208,011,023
2. 経常外収入	98,557,677
特定預金取崩収入	0
繰入金収入	97,865,358
預り金等収支差額	692,319
(1) + (2) 収入合計	579,881,298
3. 前年度繰越金	77,410,218
収入の部合計	657,291,516

〔支出の部〕

科 目	決算額
1. 経常支出	530,073,607
祭儀費	3,513,055
黙想会費	1,773,561
行事・活動費	10,655,689
教化費	698,194
研修費	466,269
図書費	0
出版刊行費	5,491,162
神学生養成費	45,611
司祭生涯養成費	1,836,300
寄付金支出	2,522,465
宗教活動費	27,002,306
会議費	1,756,132
旅費交通費	267,180
通信運搬費	2,971,082
接待交際費	216,771
消耗品費	3,082,824
修繕費	2,409,000
図書費	20,208
水道光熱費	9,275,359
リース料	748,301
諸会費	37,000
保険料	3,546,950
保守管理費	0
車両費	1,486,010

科 目	決算額
公租公課	387,398
負担金支出	23,168,028
保健衛生費	339,311
支払手数料	8,124,408
雑費	4,423,265
不動産管理費	754,942
管理費	63,014,169
非課税事業支出	26,135,821
給与手当	282,548,672
退職金	1,526,000
福利厚生費	1,198,633
法定福利費	33,258,676
人件費	318,531,981
補助金支出	12,384,894
立替金支出	5,340,301
その他の支出	17,725,195
仮受金戻し支出	8,886,683
仮払金支出	68,777,452
2. 経常外支出	69,157,583
建物建設支出	4,757,610
資産取得支出	4,757,610
繰入金支出	64,399,973
預り金収支差額	0
(1) + (2) 支出合計	599,231,190
3. 次年度繰越金	58,060,326
支出の部合計	657,291,516

2025年度収支決算承認

長崎教区の現状報告

宗教法人カトリック長崎大司教区の2025年度決算が6月29日(月)開催の教区顧問会で承認された。

教区本部一般会計の当期総収入は約5億8千万円。主な収入源は教区費、小教区拠出金(小教区負担人件費、大浦天主堂拝観料からの繰入金である。新祈禱書の頒布により非課税事業収入が増加している。

一方、当期総支出は約6億円。主な支出は人件費、委員会等の活動費、中央協議会や神学院の負担金、新祈禱書製作にかかる非課税事業支出、小教区助成金等である。収支差額は約2千万円のマイナス。

予算比で見ると、収入の部では、複数年度分の一括納入による修道会の教区費と寄付金が増加している。支出の部では、

宗教活動費の消化率が6割にとどまり、教区の宣教司牧活動本体について事業計画や予算編成を精査する必要があると示している。

建物建設支出は大司教館引退司祭居室整備費用であり、予備費から支出された。

本部特別会計および神学院等の諸機関会計、小教区会計も報告・承認された。

各会計の今後の課題は、年度計画に基づく予算編成、予算を根拠とした支出、年度報告に対応した収支決算、前期・当期・次期の会計の継続性である。

最後に、物価高騰の中、貴重な労働の実りを教会のためにささげくださる皆様に衷心より感謝申し上げ決算報告とした。

教区会計 嘉松宏樹

2026年
四旬節愛の献金
総額 6,483,373円
(6月26日現在)

上記の他、直接カリタスジャパンへご送金いただいている分もあります。皆様のご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

カリタスジャパン長崎支部

「力障連ながさき」が呼びかけ
障がい者とともに
捧げるミサ

捧げるミサ

6月7日(日)14時から、さき主催、教区福祉委員会(宮原大地委員長)協賛。

ミサに先立って、力障連ながさき支部の藤本善一会長は、本日のミサがカトリック障害者連年の記念であること、前年度の活動を振り返り、基礎を固めながら教区全体へと活動を広げていく展望など力強くあいさつ。



ミサは福祉委員会の下原和希神父の司式で行われた。下原師は説教の中で、キリストの聖体の祭日を記念し、聖体の秘跡の大切さ、ミサへの参加と、いつもともにいてくださる神様を感じながら派遣されていくようにと会衆を



励ました。聖歌の歌声も大きく響く中、手話の手も見事に交わり、奉仕のために集まった方々も含めて、ミサへの積極的参加が体現された素晴らしい時間をともに過ごした。ミサ後には茶話会も開催された。

(教区福祉委員会)

《報告》

大司教と青年の交流会

聖フランシスコ年に合わせた内容



青少年委員会では、毎年6月に父の日のお祝いも兼ね、大司教様と教区青年との交流をさせていただいています。6月7日(日)午後1時から、中村倫明大司教様、教区青年22人、司祭・修道者11人が集まりました。

今年は聖フランシスコ年に合わせ、大司教館から本河内教会への徒歩巡礼を実施。途中、中町教会で休憩をはさみつつ、参加者は2時間ほど歩きました。多くの青年が大司教様と楽しくお話しできたようです。

ご協力くださった中村大司教様をはじめ、神父様方、シスター方、青年に感謝のうちに報告させていただきます。

教区青少年委員会
委員長 川端志範

2025 年度決算に関する報告

71小教区決算集計表

単位：円

〔収入の部〕

科 目	決算額
1. 経常収入の部	1,229,813,736
教会維持費	349,668,483
ミサ献金	88,841,445
ミサ奉納金	170,805,595
祭儀献金	50,688,083
寄付金収入	62,155,946
教区補助金	3,964,000
その他の献金	61,726,728
行事収入	12,510,068
非課税事業収入	9,637,658
宗教活動収入	809,998,006
積立金収入	41,753,079
墓地納骨堂管理費収入	203,596,441
維持管理収入	245,349,520
教区費	90,692,053
神学生養成援助費（封筒）	9,108,244
世界こども助け合いの日献金	1,945,951
世界広報の日献金	1,726,081
聖ペトロ使徒座への献金	1,946,437
世界難民移住移動者の日献金	1,770,081
世界宣教の日献金	1,741,250
宣教地召命促進の日献金	1,757,617
特別献金	470,609
一葉募金	6,054,127
クリスマス募金	4,530,109
カリタスジャパン募金	6,152,782
その他の募金	5,164,848
預り金・献金収入	133,060,189
受取利息	2,030,527
雑収入	39,375,494
その他の収入	41,406,021
2. 経常外収入の部	176,983,341
資産運用収入	10,815,832
器具備品売却収入	2,450,000
資産運用収入	13,265,832
特別目的預金取崩収入	55,250,041
その他の繰入金収入	48,447,562
繰入金収入	103,697,603
内部借入金収入	8,129,338
借入金収入	8,129,338

科 目	決算額
預り金収入	11,248,958
補助金収入	7,479,571
その他の経常外収入	33,162,039
その他の収入	51,890,568
3. 前年度繰越金	1,299,658,046
収入の部合計	2,706,455,123

〔支出の部〕

科 目	決算額
1. 経常支出の部	946,791,277
祭儀費	41,099,488
教化費	36,712,067
補助金支出	25,700,571
寄付金	19,294,996
図書費	7,876,814
出版刊行費	7,195,902
行事費	42,416,185
負担金	23,401,378
会議費	2,276,481
消耗品費	29,975,557
リース料	14,391,695
通信費	13,837,993
旅費交通費	11,961,049
自動車諸費	20,801,139
水道光熱費	85,151,555
接待交際費	15,833,134
非課税事業支出	15,933,518
支払手数料	5,483,694
宗教活動支出	419,343,216
修繕費	58,050,530
保守管理費	23,825,839
墓地納骨堂管理費	5,203,103
保険料	29,811,448
公租公課	127,020
維持管理支出	117,017,940
給与手当	208,311,213
雑給与	26,016,683
退職金	1,405,000
福利厚生費	13,495,077
法定福利費	3,503,640
人件費	252,731,613

科 目	決算額
教区費	89,735,480
神学生養成援助費（封筒）	9,127,244
世界こども助け合いの日献金	1,995,391
世界広報の日献金	1,765,991
聖ペトロ使徒座への献金	1,978,650
世界難民移住移動者の日献金	1,822,659
世界宣教の日献金	1,817,467
宣教地召命促進の日献金	1,815,257
特別献金	5,139,698
一葉募金	6,025,062
クリスマス募金	4,630,610
カリタスジャパン募金	6,188,917
その他の募金	5,168,894
預り金・献金支出	137,211,320
雑費	20,487,188
その他の支出	20,487,188
2. 経常外支出の部	316,245,711
土地取得支出	2,112,330
建物取得支出	8,608,129
構築物購入支出	16,926,583
器具備品購入支出	17,435,682
資産取得支出	45,082,724
特別目的預金積立金繰入支出	99,263,210
修理費積立金支出	21,649,733
繰入金支出	120,912,943
内部借入金返済支出	118,500,000
外部借入金返済支出	3,088,946
借入金返済支出	121,588,946
預り金支出	7,429,352
その他の経常外支出	21,231,746
その他の支出	28,661,098
予備費	0
3. 次年度繰越金	1,443,418,135
支出の部合計	2,706,455,123

	2024年度	2025年度
世帯数	16,646	16,380
①維持費 / 世帯数 / 月	1,814	1,779
②教区費 / 世帯数 / 月	459	461
③教区費 / 維持費（％）	25.3	25.9
④ミサ奉納金 / 世帯数 / 月	891	869
⑤ミサ献金 / 世帯数 / 月	445	452

カトリック信徒カード

No. 003

カトリック長崎大司教区

〇〇教会

ベトロ

長崎 太郎

【洗礼】 2000年 1月 1日

みことば

求めなさい。

そうすれば与えられる。

(マタイ7章7節)

発行年月日: 2026年06月08日

カトリック信徒カード

希望者は小教区へ申し込み可能

教区シノドスコアチームが作成

2027 年WYDソウル大会

参加希望者・協力者は仮登録を！

2027年8月に韓国で開催されるWYDソウル大会に向けて、日本の教会では同大会日本事務局（青少年司牧部門内）を中心に各教区と連携しながら準備を進めている。このほど「参加希望者」と「協力者」の仮登録受付が始まった。

最新情報はカトリック中央協議会の公式サイトで確認できる。仮登録については次の通り。

【参加希望者】および【協力者】との連携準備のための「意向調査」兼「仮登録」です。登録者には、正式募集や説明会などの情報を案内します。

■本フォーラムの提出は正式な参加登録を意味するものではなく、参加を保証するものではありません。

申込期間（定員設定は未定）と

WYDソウル大会の日程は、「教区での日々（教区大会）」が2027年7月29日④～8月2日⑤、本大会が8月3日⑥～8日⑥。今後、大会までのスケジュールは、▼仮登録開始（現在）▼2026年8月29日①16時～17時30分・オンライン説明会▼2026年秋・募集要項公表▼2026年秋～27年春・申込期間（定員設定は未定）と

ありません。準備の参考と、今後の正式募集案内に生かすものです。

■正式な登録手続きは、募集要項発表後となります。

仮登録はこちらから↓

昨年、長崎教区シノドスコアチームが準備を進めてきた、教区発行の「カトリック信徒カード」を作成する様式（データ）がこのほど完成した。6月10日（水）、教区本部事務局の葛嶋秀信師と教区シノドス担当の岡秋美師は連名でこのことを教区内に知らせ、小教区で活用してもらうよう、様式データをおさめたメ「任意」。教区シノドスコ

「カトリック信徒カード」の発行作業は長崎教区の各小教区で行われる。対象は長崎教区内の小教区に所属し、かつ教区内に在住している信徒のみ。巡回教会の信徒もその教会名での発行が可能である。

カードの申し込みは「任意」。教区シノドスコ

アチームは、カードの希望者は所属小教区へ申し込み、小教区がカードを発行して希望者に配布いただくよう呼びかけている。

シノドス担当の岡師は、カードを持つことの良さを次のように伝えている。

「同じ教会の信徒が、同じ教会名と同じ教会写真の付いたカードを持つことにより、一体感が生まれます。また、『みことば』をもつて生きるとき、神様がいつもともにいてくださる」と意識できて心強くなり、『正しく、優しく生きよう』と励みになることでしょ

う。カードは一般的な診察カードと同じ大きさで、財布などに入れて持ち歩くことができます。外出時に具合が悪くなり倒れたりして家族との連絡が取れない場合には所属小教区に連絡がいき、何らかの対応が取れるかもしれません」

教区発行の「カトリック信徒カード」は、大浦天主堂発行の「信徒カード」と同様、提示すると、大浦天主堂キリシタン博物館に無料で入場することができる。

信じる心を手放さず

雲仙殉教祭



13時30分、長崎北地区評議会の宮崎儀行議長のあいさつに続き、中村倫明大司教主司式、28人の司祭団の共同司式によりミサがささげられた。

5月17日(日)、第43回雲仙殉教祭は約850人が集い、雲仙メモリアルホールで行われた。くしくもちょうどこの日は、399年前の1627年2月28日に雲仙地獄で殉教した16人に続いて、5月に殉教した10人の命日に当たっていた。

え、イエスを信じる心を手放さなかった殉教者たちに倣おう。現代の新たな迫害に打ち勝つために、殉教者たちに心の目

2人の神父の殉教を記念

5月22日、帯取でミサ



暮れなずむ5月22日(金)の夕方、殉教の地である帯取(おびとり)において、植松と水主町両

教会の共催による「帯取殉教記念ミサ」が、下山盛朗神父(植松主任)、山田良秋神父(水主町主任)の司式のもと、57人の参加者と共にささげられた。

ここは、イエズス会のマシヤード神父とフランシスコ会のペトロ神父が、26聖人殉教20年後の1617年のこの日に殉教した場所です。このお二人は、大村領内においての最初の殉教者であるとともに、日本205福

長崎教区司祭黙想会

4日間にわたり雲仙教会で実施

6月16日(火)から19日(金)まで、長崎教区司祭の黙想会が雲仙教会を会場に行われ、約50人



が参加した。講師はイグナシオ・マルティネス・バエス師(メキシコの外台司教となった浦川和三郎師は長崎出身。講師は、長崎との深いつながりを感じると述べ、今までの歩みを振り返る時たくさん

フオコラーレ主催 一日マリアポリ 違いを超えよう!

6月20日(土) 西町教会で「違いを超えよう! 普遍的な兄弟愛を皆で一緒に」のテーマで、一日マリアポリが開催されました。鹿児島・福岡・東京など県外からの参加者



も含め約70人が集いました。ごミサを司式してください。さった高見三明名誉大司

「隣人はもう一人の私―兄弟への愛―」。誰を、どのように、いつ愛するか、どのような尺度で、という黙想を通して普遍的な兄弟愛について深め、生活の中で具体的に生きた経験の発表もありました。

お知らせ

大山教会の連絡先変更
同教会の電話回線廃止のため、今後は小ヶ倉教会へ連絡をお願いいたします。

ふいつ園

聖母平和祈願祭 8月15日(土)13時講演、13時30分口サリオ、14時ミサ。アルカスSASEBO。大村殉教祭 9月6日(日)13時、シーハットおもむら・さくらホール。

TEL 095・878・0964
FAX 095・878・0965

西日本司祭団交流会

約90人がソフトと食事楽しむ



5月12日(火)、大阪高松、広島、福岡、大分、長崎の各教区の司教、司祭、修道士、約90人が長崎に集まり、交流会が行われた。日中はソフトボールで、



南地区女性部の方々が朝7時から準備してくださったが、特に大山のたけのこや浦上そばろは、他の教区の司祭にも大好評で、試合ではできなかった「おもてなし」をする

『カトリック教会祝日表 2026』訂正・修正のお願い

【2頁】	③大斎と小斎
現行	「…小斎とは、灰の水曜日、聖金曜日、毎週金曜日に肉食を控えることです。他の償いの形式、特に愛徳の業、信心業、節欲の実行をもって替えることができます。…」
修正	「…小斎とは、灰の水曜日と聖金曜日、祭日以外の毎週金曜日に肉食を控えることです。毎週金曜日の小斎は、愛徳の業、信心業、節欲の実行などをもって替えることができます。…」
【12頁】	
現行	13日/週緑〔聖母マリアの汚れなき心〕〔聖アントニオ(パドヴァの)司祭教会博士〕
訂正	13日/記白 聖母マリアの汚れなき心
【30頁】	
現行	四旬節/聖ヨセフの月/復活節
訂正	四旬節/聖ヨセフの月/聖週間/復活節
【34頁】	
現行	子どもと女性の人権相談室(月・水・金 10:00~16:00 受付/祝日は休み)
修正	子どもと女性の人権相談室(日・金 10:00~16:00、第1・3土 13:15~16:15 受付/祝日は休み)

鷹島へ巡礼とミサ 殉教者への祈りを共有

宮崎・延岡教会からも参加



5月31日(日)時津港からチャーター船で20分近くの殉教地・鷹島へ向かいました。到着後は参加者全員で清掃を行い、久志利津男神父様(時津教会主任)と城山教会の今田昌樹神父様による共同司式のミサがささげられ、時津・城山・長与の各教会に加え、今年は特別に宮崎・延岡教会からも信徒が参加しました。延岡は、鷹島で殉教したエルナンデスが1604年頃に来航後、多くの人々を信仰の道に導いた地として記録されており、今回の参加は深いつながりを感じます。

示すものになったと思います。

鷹島巡礼の歴史は、1977年に殉教碑が建立されて以来、毎年1~2回続けられてきた地域信仰の歴史を受け継ぐ重要な行事です。近年は城山教会や長与教会も加わり、より広い共同体で殉教者をしのぶ巡礼へと発展しています。

城山教会とはエルナンド神父様が聖アウグスチノ修道会出身であることから縁があり、長与教会とはかつて時津小教区の巡回教会として共に歩んだ歴史を背景に交流が続けられています。こうした教会間の結びつきは、殉教者への祈りを共有し、信仰の歩みを新たに

する力になっていると思います。(時津教会 瀬戸成幸)



福者ペトロ岐部司祭と 187殉教者記念日ミサ

福者ペトロ岐部司祭と187殉教者の記念日の7月1日(水)、午前6時30分から城山教会(遠山満主任神父)で朝のミサ

修道会が司牧している。ミサでは、神の愛を証しし模範を示した多くの殉教者たちを思い、祈りがささげられた。説教師のマイケル・ヒルデン神父は「今の時代の教会の私たちがまた、殉教者の取り次ぎを願って、証しを続けることができるよう恵みを祈りましょう」と語った。

「ペトロ岐部と187殉教者」は2008年11月24日、長崎市で「福者」に列せられた。

写真は城山教会の記念日ミサ。聖堂内には三枚樺子氏が描いた、外海の洋上を背にする金鰐次兵衛神父の絵(写真中央)が掲げられている。